

修正内容一覧

頁	該当箇所	修正前	修正後	修正理由
6	Ⅱ 社会潮流 7 経済環境の変化 2・3行め	特にコロナ禍で大きく減少した訪日外国人消費額は2024年に8兆円を突破し過去最高を更新するなどコロナ前を上回る状況にある。	特にコロナ禍で大きく減少した訪日外国人消費額は2025年には約9.5兆円にのぼり過去最高を更新するなどコロナ前を上回る状況にある。	2025年の最新値を反映するため。
11	Ⅲ 主要指標から見た本市の状況 3 人口動態 人口動態（自然増減・社会増減）の推移 グラフ説明文の1・2つめの◆	◆自然増減は2011年以降14年連続で自然減。 ◆社会増減は2013年以降9年連続で社会減であったが、2022年以降は3年連続の社会増。	◆自然増減は2011年以降15年連続で自然減。 ◆社会増減は2013年以降9年連続で社会減であったが、2022年以降は4年連続の社会増。	2025年の最新値を踏まえた記載に見直すため。
11	Ⅲ 主要指標から見た本市の状況 3 人口動態 人口動態（自然増減・社会増減）の推移 グラフ			2025年の最新値を反映するため。
11	Ⅲ 主要指標から見た本市の状況 3 人口動態 出生数・合計特殊出生率の推移 グラフ			2025年の最新値を反映するため。 合計特殊出生率は2024年が最新値であることを明確にするため（2025年の合計特出生率は他都市で出産した堺市民の数値を含めた厚生労働省「人口動態統計」（2026年9月更新予定）により算出）。
12	Ⅲ 主要指標から見た本市の状況 3 人口動態 日本人の年齢別社会増減 グラフ説明文	◆日本人の年齢別の社会増減は20～30代で社会減傾向が顕著。	◆日本人の年齢別の社会増減は20～30代で社会減傾向が顕著であったが、2025年は社会増。	2025年の最新値を踏まえた記載に見直すため。
12	Ⅲ 主要指標から見た本市の状況 3 人口動態 日本人の年齢別社会増減 グラフ			2025年の最新値を反映するため。 本市のデータであることを明確にし誤解が生じないようにするため。
13	Ⅲ 主要指標から見た本市の状況 3 人口動態 相手先地域別に見た日本人の20代・30代の社会増減（2024年）	◆20代は特に大阪市・東京都に対し社会減が大きく、和歌山県・南大阪に対し社会増が大きい。 ◆30代は特に和泉市・大阪狭山市に対し社会減が大きく、大阪市に対し社会増が大きい。 	左欄のデータを削除	データの出典資料は2024年が最新であるが、2025年に日本人の20～30代が社会増に転じており、2024年のデータを掲載すると誤解が生じる恐れがあるため。
15	Ⅲ 主要指標から見た本市の状況 4 昼夜間人口 人口動向から見る本市の課題	社会減への対策では本市の日本人において転出超過が顕著である子育て世代の定住・流入を促進するため、子育て支援・教育環境・就労・防犯など居住地の選択に関わる様々な分野の施策を総合的に推進し定住魅力を高め、その魅力を市内外に効果的に発信することが重要である。	社会減への対策では生産年齢人口や年少人口の維持・増加につながる子育て世代の定住・流入を促進するため、子育て支援・教育環境・就労・防犯など居住地の選択に関わる様々な分野の施策を総合的に推進し定住魅力を高め、その魅力を市内外に効果的に発信することが重要である。	2025年の最新値において子育て世代にあたる20～30代が社会増となったことを踏まえ表現を見直すため。

頁	該当箇所	修正前	修正後	修正理由																			
22	Ⅲ 主要指標から見た本市の状況 7 財政状況 財政収支見通し グラフ説明文	◆財政収支見通しは 推計期間中を通して収支不足が続く見込み 。	◆財政収支見通しは 推計期間中を通して概ね収支不足が続く見込み 。	最新の財政収支見通しを踏まえ表現を見直すため。																			
22	Ⅲ 主要指標から見た本市の状況 7 財政状況 財政収支見通し グラフ			最新の財政収支見通しを反映するため。																			
23	Ⅳ 都市像 1 都市像と基本姿勢 (1) 都市像	右欄のとおり追記	※ 市政におけるイノベーション 市政におけるイノベーションとは産業における技術革新や新事業創出等に限らず、福祉・教育・都市整備などすべての分野において新しいアイデアや手法、技術等を積極的に取り入れて、新たな価値の創出や変革をもたらすことを意味する。	都市像で説明しているイノベーションの意味がより伝わる記載とするため。 ※パブリックコメントのご意見による修正																			
28	Ⅳ 都市像 3 空間像・エリア戦略 3・4行め	2031年には 大阪駅から新今宮駅までを事業区間とするな にわ筋線の開業が予定されており、南海本線の アクセシビリティ は更に高まることが見込まれる。	2031年には 大阪駅と南海新今宮駅及びJR難波駅をつなぐ にわ筋線の開業が予定されており、南海本線や JR阪和線のアクセシビリティ は更に高まることが見込まれる。	なにわ筋線の開業は南海本線だけでなくJR阪和線のアクセシビリティ向上にも資するものであるため。 ※パブリックコメントのご意見による修正																			
30・31	Ⅳ 都市像 3 空間像・エリア戦略 (2) 成長ゾーン			「イノベーション創出拠点」「スマートシティ」は「中百舌鳥エリア」「泉北ニュータウンエリア」と同地域にあたることからエリアの名称を統一するため。 ※パブリックコメントのご意見による修正																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>エリア</th> <th>空間像</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都心エリア</td> <td>●多様な都市機能が集積する南大阪都市圏の拠点</td> </tr> <tr> <td>イノベーション創出拠点</td> <td>●大学や産業支援施設、職住一体・近接型の業務機能等が集積し、最先端テクノロジーとビジネスを創造するイノベーション創出拠点</td> </tr> <tr> <td>スマートシティ</td> <td>●泉北ニュータウンにおいてヘルスケア・モビリティなど地域課題の解決に資するスマートシティ</td> </tr> <tr> <td>産業集積</td> <td>●高度な生産機能や物流機能等の集積など世界をリードする臨海部の拠点 ●広域アクセシビリティに優れた立地を活かし、産業機能が集積する内陸部の拠点</td> </tr> </tbody> </table>	エリア	空間像	都心エリア	●多様な都市機能が集積する南大阪都市圏の拠点	イノベーション創出拠点	●大学や産業支援施設、職住一体・近接型の業務機能等が集積し、最先端テクノロジーとビジネスを創造する イノベーション創出拠点	スマートシティ	●泉北ニュータウンにおいてヘルスケア・モビリティなど地域課題の解決に資する スマートシティ	産業集積	●高度な生産機能や物流機能等の集積など世界をリードする臨海部の拠点 ●広域アクセシビリティに優れた立地を活かし、産業機能が集積する内陸部の拠点	<table border="1"> <thead> <tr> <th>エリア</th> <th>空間像</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都心エリア</td> <td>●多様な都市機能が集積する南大阪都市圏の拠点</td> </tr> <tr> <td>中百舌鳥エリア</td> <td>●大学や産業支援施設、職住一体・近接型の業務機能等が集積し、最先端テクノロジーとビジネスを創造するイノベーション創出拠点</td> </tr> <tr> <td>泉北ニュータウンエリア</td> <td>●ヘルスケア・モビリティなど地域課題の解決に資するスマートシティ</td> </tr> <tr> <td>産業集積</td> <td>●高度な生産機能や物流機能等の集積など世界をリードする臨海部の拠点 ●広域アクセシビリティに優れた立地を活かし、産業機能が集積する内陸部の拠点</td> </tr> </tbody> </table>	エリア	空間像	都心エリア	●多様な都市機能が集積する南大阪都市圏の拠点	中百舌鳥エリア	●大学や産業支援施設、職住一体・近接型の業務機能等が集積し、最先端テクノロジーとビジネスを創造する イノベーション創出拠点	泉北ニュータウンエリア	●ヘルスケア・モビリティなど地域課題の解決に資する スマートシティ	産業集積	●高度な生産機能や物流機能等の集積など世界をリードする臨海部の拠点 ●広域アクセシビリティに優れた立地を活かし、産業機能が集積する内陸部の拠点
エリア	空間像																						
都心エリア	●多様な都市機能が集積する南大阪都市圏の拠点																						
イノベーション創出拠点	●大学や産業支援施設、職住一体・近接型の業務機能等が集積し、最先端テクノロジーとビジネスを創造する イノベーション創出拠点																						
スマートシティ	●泉北ニュータウンにおいてヘルスケア・モビリティなど地域課題の解決に資する スマートシティ																						
産業集積	●高度な生産機能や物流機能等の集積など世界をリードする臨海部の拠点 ●広域アクセシビリティに優れた立地を活かし、産業機能が集積する内陸部の拠点																						
エリア	空間像																						
都心エリア	●多様な都市機能が集積する南大阪都市圏の拠点																						
中百舌鳥エリア	●大学や産業支援施設、職住一体・近接型の業務機能等が集積し、最先端テクノロジーとビジネスを創造する イノベーション創出拠点																						
泉北ニュータウンエリア	●ヘルスケア・モビリティなど地域課題の解決に資する スマートシティ																						
産業集積	●高度な生産機能や物流機能等の集積など世界をリードする臨海部の拠点 ●広域アクセシビリティに優れた立地を活かし、産業機能が集積する内陸部の拠点																						
35	Ⅳ 都市像 5 計画の全体像			エリアの名称変更を図中に反映するため。 ※パブリックコメントのご意見による修正																			
48	Ⅴ 重点戦略の各施策 1 堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～ (4) 伝統産業のブランド力向上による活性化 KPI	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>現状値</th> <th>目標値 (2030年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堺伝匠館等における伝統産品等の年間売上金額*</td> <td>281,651千円</td> <td>450,000千円</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	現状値	目標値 (2030年度)	堺伝匠館等における伝統産品等の年間売上金額*	281,651千円	450,000千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>現状値</th> <th>目標値 (2030年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堺伝匠館等における伝統産品等の年間売上金額*</td> <td>281,651千円</td> <td>600,000千円</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	現状値	目標値 (2030年度)	堺伝匠館等における伝統産品等の年間売上金額*	281,651千円	600,000千円	2025年度の実績の推移等を踏まえ目標値を見直すため。							
指標名	現状値	目標値 (2030年度)																					
堺伝匠館等における伝統産品等の年間売上金額*	281,651千円	450,000千円																					
指標名	現状値	目標値 (2030年度)																					
堺伝匠館等における伝統産品等の年間売上金額*	281,651千円	600,000千円																					

頁	該当箇所	修正前	修正後	修正理由												
49	V 重点戦略の各施策 1 堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～ (5) 「サイクルシティ堺」としてのブランド力と都市魅力の向上 現状・課題3つめの●の5・6行め	本市における 2024年の自転車乗車時のヘルメット着用率は10.4% であり安全利用の観点から着用を徹底することが重要である。	本市における 2025年の自転車乗車時のヘルメット着用率は10.2% であり安全利用の観点から着用を徹底することが重要である。	2025年の最新値を反映するため。												
61	V 重点戦略の各施策 2 人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～ (3) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現 KPI	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>現状値</th> <th>目標値（2030年度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規要支援・要介護認定者の平均年齢</td> <td>80.2歳</td> <td>2023年度 81.7歳</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	現状値	目標値（2030年度）	新規要支援・要介護認定者の平均年齢	80.2歳	2023年度 81.7歳	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>現状値</th> <th>目標値（2030年度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規要支援・要介護認定者の平均年齢</td> <td>80.3歳</td> <td>2024年度 81.8歳</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	現状値	目標値（2030年度）	新規要支援・要介護認定者の平均年齢	80.3歳	2024年度 81.8歳	2024年度の最新値を反映するため。 最新値を踏まえ目標値を見直すため。
指標名	現状値	目標値（2030年度）														
新規要支援・要介護認定者の平均年齢	80.2歳	2023年度 81.7歳														
指標名	現状値	目標値（2030年度）														
新規要支援・要介護認定者の平均年齢	80.3歳	2024年度 81.8歳														
63	V 重点戦略の各施策 2 人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～ (4) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現 KPI	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>現状値</th> <th>目標値（2030年度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉施設から一般就労への移行者数</td> <td>244人</td> <td>2023年度 321人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	現状値	目標値（2030年度）	福祉施設から一般就労への移行者数	244人	2023年度 321人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>現状値</th> <th>目標値（2030年度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉施設から一般就労への移行者数</td> <td>290人</td> <td>2024年度 398人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	現状値	目標値（2030年度）	福祉施設から一般就労への移行者数	290人	2024年度 398人	2024年度の最新値を反映するため。 最新値を踏まえ目標値を見直すため。
指標名	現状値	目標値（2030年度）														
福祉施設から一般就労への移行者数	244人	2023年度 321人														
指標名	現状値	目標値（2030年度）														
福祉施設から一般就労への移行者数	290人	2024年度 398人														
79	V 重点戦略の各施策 3 将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～ (5) 厳しい環境にある子どもと家庭への支援の充実 現状・課題3つめの●の1・2行め	子ども相談所 における児童虐待相談対応件数が高水準で推移している中、本市では児童福祉司・児童心理司の体制を強化している。	子ども相談所 における児童虐待相談対応件数が高水準で推移している中、本市では児童福祉司・児童心理司の体制を強化している。	2026年度より組織名の表記を変更する予定のため。												
80	V 重点戦略の各施策 3 将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～ (5) 厳しい環境にある子どもと家庭への支援の充実 取組の方向性【重大な児童虐待ゼロをめざした取組】 2つめの●	● 子ども相談所 における児童福祉司・児童心理司等の人材確保や警察との連携強化など児童虐待防止に向けた体制等を充実	● 子ども相談所 における児童福祉司・児童心理司等の人材確保や警察との連携強化など児童虐待防止に向けた体制等を充実	2026年度より組織名の表記を変更する予定のため。												
93	V 重点戦略の各施策 4 人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractiveness～ (6) 次世代につなげる農業の促進 現状・課題2つめの●の4～6行め	本市の 基幹的農業従事者（普段仕事として主に自営農業に従事している者）は65歳以上が70%以上 を占めるなど高齢化が進んでおり、担い手不足が今後深刻化する可能性がある。	本市の 基幹的農業従事者（自営農業を主な仕事としている世帯員）は65歳以上が約70% を占めるなど高齢化が進んでおり、担い手不足が今後深刻化する可能性がある。	数値の出典である国の農林業センサスにおいて「基幹的農業従事者」の定義の表現が変更されたことを踏まえ記載を見直すため。 本市の基幹的農業従事者の65歳以上の割合の最新の概数値は69.5%であるため。												
106	V 重点戦略の各施策 5 強しなやかな都市基盤 ～Resilience～ (3) カーボンニュートラルの推進 取組の方向性【脱炭素型都市構造・社会システムの構築】 4つめの●	● 太陽光発電・蓄電池・V2H（ビークル・トゥ・ホームシステム）等の導入による ゼロエネルギー住宅の普及を促進	● 太陽光発電・蓄電池・V2H（ビークル・トゥ・ホームシステム）等の導入による 住宅の脱炭素化を促進	ZEH+などエネルギー収支がゼロを超えてマイナスとなる住宅の普及促進にも取り組むことを踏まえ、より適切な記載に見直すため。												
109	V 重点戦略の各施策 5 強しなやかな都市基盤 ～Resilience～ (5) 犯罪のない安心して暮らせる地域社会の実現 現状・課題 1つめの●の2・3行め	大阪重点犯罪認知件数（注）は2024年に減少したが、 2025年1月から9月の速報値では前年同時期と比較して約1.2倍となり再び増加に転じている。	大阪重点犯罪認知件数（注）は2024年に減少したが、 2025年1月から11月の速報値では前年同時期と比較して約1.1倍となり再び増加に転じている。	2025年1～11月の最新の速報値を反映するため。												

頁	該当箇所	修正前	修正後	修正理由																
113	VII 堺市まち・ひと・しごと創生総合戦略 3 地方創生における基本的方向 (1) 堺の特色ある歴史文化と強しなやかな都市基盤 ～まちの創生～ ①歴史文化資源や文化の魅力創出による交流人口の創出 KPI	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th colspan="2">現状値</th> <th>目標値 (2030年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堺伝匠館等における伝統産品等の年間売上金額^{※2}</td> <td>281,651千円</td> <td>2024年度</td> <td>450,000千円</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	現状値		目標値 (2030年度)	堺伝匠館等における伝統産品等の年間売上金額 ^{※2}	281,651千円	2024年度	450,000千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th colspan="2">現状値</th> <th>目標値 (2030年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堺伝匠館等における伝統産品等の年間売上金額^{※2}</td> <td>281,651千円</td> <td>2024年度</td> <td>600,000千円</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	現状値		目標値 (2030年度)	堺伝匠館等における伝統産品等の年間売上金額 ^{※2}	281,651千円	2024年度	600,000千円	2025年度の実績の推移等を踏まえ目標値を見直すため。
指標名	現状値		目標値 (2030年度)																	
堺伝匠館等における伝統産品等の年間売上金額 ^{※2}	281,651千円	2024年度	450,000千円																	
指標名	現状値		目標値 (2030年度)																	
堺伝匠館等における伝統産品等の年間売上金額 ^{※2}	281,651千円	2024年度	600,000千円																	
118	VII 堺市まち・ひと・しごと創生総合戦略 3 地方創生における基本的方向 (2) 将来に希望が持てる子育て・教育と人生100年時代の健康・福祉 ～ひとの創生～ ③心身ともに健康で輝きながら暮らし続けることができる健康・福祉の充実 KPI	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th colspan="2">現状値</th> <th>目標値 (2030年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規要支援・要介護認定者の平均年齢</td> <td>80.2歳</td> <td>2023年度</td> <td>81.7歳</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	現状値		目標値 (2030年度)	新規要支援・要介護認定者の平均年齢	80.2歳	2023年度	81.7歳	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th colspan="2">現状値</th> <th>目標値 (2030年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規要支援・要介護認定者の平均年齢</td> <td>80.3歳</td> <td>2024年度</td> <td>81.8歳</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	現状値		目標値 (2030年度)	新規要支援・要介護認定者の平均年齢	80.3歳	2024年度	81.8歳	2024年度の最新値を反映するため。最新値を踏まえ目標値を見直すため。
指標名	現状値		目標値 (2030年度)																	
新規要支援・要介護認定者の平均年齢	80.2歳	2023年度	81.7歳																	
指標名	現状値		目標値 (2030年度)																	
新規要支援・要介護認定者の平均年齢	80.3歳	2024年度	81.8歳																	
118	VII 堺市まち・ひと・しごと創生総合戦略 3 地方創生における基本的方向 (2) 将来に希望が持てる子育て・教育と人生100年時代の健康・福祉 ～ひとの創生～ ③心身ともに健康で輝きながら暮らし続けることができる健康・福祉の充実 KPI	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th colspan="2">現状値</th> <th>目標値 (2030年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉施設から一般就労への移行者数</td> <td>244人</td> <td>2023年度</td> <td>321人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	現状値		目標値 (2030年度)	福祉施設から一般就労への移行者数	244人	2023年度	321人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th colspan="2">現状値</th> <th>目標値 (2030年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉施設から一般就労への移行者数</td> <td>290人</td> <td>2024年度</td> <td>398人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	現状値		目標値 (2030年度)	福祉施設から一般就労への移行者数	290人	2024年度	398人	2024年度の最新値を反映するため。最新値を踏まえ目標値を見直すため。
指標名	現状値		目標値 (2030年度)																	
福祉施設から一般就労への移行者数	244人	2023年度	321人																	
指標名	現状値		目標値 (2030年度)																	
福祉施設から一般就労への移行者数	290人	2024年度	398人																	